

景気の回復に向けて



議長

平田 武

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと存じます。

昨年は、猛暑による熱中症や異常気象により、農作物全般に大きな被害が生じた年でした。また、政局は混迷が続き、さらには、尖閣諸島における中国漁船衝突事件や、北朝鮮による韓国への砲撃が起きるなど、国内情勢や外交、防衛の面で不安を残し、国内経済は、急激な円高による産業界への影響も計り知れない年でもありました。

そうした中で、平成23年度の政府予算案は過去最大の92・4兆円規模となり、税収が40兆円で不足分は借金で賄うこととなり、景気対策や教育福祉の充実が盛り込まれているものの、人口減少社会の中での借金の増額は、考えさせられるところがあります。また、社会保障費や子ども手当にみられるように、国の対応にも限りがありますし、医療や年金においても課題が山積みです。

さて、本市に目を向けますと、県道原町川俣線のトンネル化に向けて動いたこと、相馬野馬追祭の週末開催決定、常磐自動車道相馬延伸など明るい話題があげられます。こうした千載一遇の好機を生かしながら、雇用の創出や地域経済の回復に向けた本市の施策が展開できるよう、市議会としても提言していくとともに、市議会に課せられた使命の重大さを肝に銘じ、市勢進展と市民福祉の向上に努めてまいり所存であります。

新春を祝うとともに市民の皆様のご多幸を心からご祈念申し上げます、挨拶いたします。

希望の年に



副議長

西 一信

平成23年の輝かしい新春を迎え、お慶び申し上げます。昨年は、国内外ともに社会・経済情勢は厳しく、今年もその回復の気配は全く感じられません。しかし、時間は止められないし、停滞は許されないのであります。

いま本市では、経済と地域の力を高める『活力』、住み続けられるための『安心』、「ひと」と「まち」の『潤い』を3重点施策と位置付けて積極的に取り組み進行中です。昔から「言うは易く行うは難し」という格言があるように、言うことや計画は幾らでも立てることはできますが、実際にそれを実行し、さらに実績を残していくというのは、並大抵のことではできません。市民と行政が一緒になって知恵を出し合い、議会と執行部が議論を交わしながら、将来を見据えた施策を選択することが大切です。

現在、南相馬市が直面している財政の建て直しをはじめ、雇用の創出、少子高齢社会対策、企業支援・誘致、経済対策、教育・福祉・医療の充実など課題が山積しております。市議会の使命は、市民全体の立場に立って「具体的な政策の最終決定」と「行財政運営の批判と監視」を完全に達成することです。本市議会はこのことを再確認しながら懸命に努力することを約束し、市民の皆様のご健康とご多幸をご祈念しながら、新年の挨拶いたします。

新たな議会構成 (平成22年12月1日現在)

◎は委員長、○は副委員長です。

文教福祉常任委員会 7人



(後列右から) 大山 弘一、中川 庄一、田中 京子
 (前列右から) 細田 廣、○今村 裕、○小川 尚一、荒木千恵子

総務常任委員会 8人



(後列右から) 但野 謙介、竹野 光雄、志賀 稔宗、鈴木 昌一
 (前列右から) 高野 光二、○山田 雅彦、◎田中 一正、西 一信

議会運営委員会 8人



(後列右から) 山田 雅彦、今村 裕、小川 尚一、鈴木 昌一
 (前列右から) 小林 正幸、○渡部 寛一、◎横山 元栄、土田美恵子

建設経済常任委員会 8人



(後列右から) 奥村 健郎、渡部 寛一、横山 元栄、水井 清光
 (前列右から) 湊 清一、○土田美恵子、◎小林 正幸、西 銑治

【会派の構成】

- ◇友和会 10人
 - 会長 横山 元栄
 - 副会長 細田 廣
 - 事務局長 今村 裕
 - 会計 鈴木 昌一
 - 中川 一正
 - 西 一信
 - 平田 武
 - 湊 清一
 - 山田 雅彦
- ◇改革クラブ 6人
 - 代表 高野 光二
 - 副代表 小林 正幸
 - 事務局長 小川 尚一
 - 会計 竹野 光雄
 - 幹事 田中 京子
 - 監査 西 銑治
- ◇公明党南相馬市議員団 2人
 - 代表 志賀 稔宗
 - 経理責任者 土田美恵子
- ◇日本共産党議員団 2人
 - 団長 渡部 寛一
 - 幹事長 荒木千恵子
- ◇無会派 大山 弘一
- ◇無会派 奥村 健郎
- ◇無会派 但野 謙介
- ◇無会派 水井 清光